

平成30年度第1回 佐久市立図書館協議会 会議録

日時：平成30年8月24（金）

午前3時30分から

場所：佐久市立中央図書館視聴覚室

委員出席人数 7名

委嘱書の交付

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 会議事項（事務局説明、質疑、意見等要約）

（1）平成29年度佐久市立図書館事業報告について

佐久市立図書館の概要について事務局より説明
質問等、無し

（2）今年度主な実施事業の報告

- ア 移動図書館車「草笛号」について
 - イ 「読書サミット」について
 - ウ 「わいわい文庫」について
 - エ 「ワクワク夏休み子ども実験室」について
- アからエについて事務局より説明

委員： 広い分野から、いろいろ工夫して実施しているので、利用者の増加につながっていると感心した。

委員： 本の帯があるから出会えた本がある。帯紹介をしていることはありがたい。

委員： 発達障害の図書を借りて読んだが、古いものもあった。図書館を使って自分のほしい本を見つけるために、たくさんの本にふれたい。いろいろな分野の本を収集してほしい。

委員： エについて、楽しそうな企画である。今後充実していくと思われる。他の学校でも実施するのか。

事務局： 検討していく。

(3) その他

ア 佐久市の図書館の未来を考える

アについて事務局より説明

委員 : 読み聞かせは小さい子には行うが、シニア向けにも読み聞かせを行なったらどうか。癒されるし、読書の良さを感じられる。

委員 : 図書館の事業に「書くこと」はそぐわないかもしれないが、作文・コミュニケーションの力をつける、「書く」講座をやってほしい。

委員 : 思っていることを人に伝えることが苦手な日本人。相手に伝えることが大切。

2050年には外国人が多くなる。将来、外国の方も図書館を利用したいのでは。

事務局 : 色々な人(国を含めて)が利用できるような資料や事業を考えていく。現在、「ジョージアさんの英語の絵本の読み聞かせ」事業や、中央図書館には「ふれあいコーナー」として、外国人とふれあう等、どなたでも利用できる部屋がある。

委員 : 複合化・多機能化は良い。
高齢者が免許を返納後も利用できるよう、移動手段も考えてもらいたい。

委員 : 学校図書館から検索して、図書館の本が借りられるか。

事務局 : インターネットで検索して、予約して借りることができることを、学校司書のみなさんには紹介済みである。

委員 : 中学生は住んでいる場所によって、図書館へ子どもだけで行ける子と行けない子がいる。子どもに図書館で本を借りることができることを伝えたい。

事務局 : 視察研修を今年度も実施するので、希望場所があったらご意見ください。

次回、第2回会議は、2月に開催する予定である。

6 閉会